

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準の部屋に加え、別室も適宜利用しています。
	②	職員配置数は適切であるか	○			基準の定数を満たしていて、しかも、有能な職員を配しています。
	③	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			全室フローリングで段差もありません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者全員が毎日迎えに来るので、その時に要望や日々の様子等も聞いています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページに更新予定。(R5年3月末)です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		地域の議員や一般の方々から、意見を聞いています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		実務に比重を置いているが、余暇を見出し、資質向上に必要な研修に参加できるようにしています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基準に従って行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日、状況に応じたプログラムを立てて、スタッフ全員で行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			様々なところに見学に行って視野を広げ、また、英語、パソコン等の学習も、進度に応じて行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			一日の利用時間に合わせ、利用者が楽しく積極的にこなせるよう、プログラムを決めています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動や、集団活動の計画は、個々の発達状況を良く見極めて立案し実行しています。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の職員会議で、業務内容を確認し、各々の職員が役割を確実にこなせるようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、一日の成果を報告し合い、翌日の業務につなげています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			異変については、より詳細に記録するようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個々の成長に合わせて対応しています。
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			基本に沿い、更に得意な事を捉え、伸ばしています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			直接の担当者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校への送迎時に先生との情報交換や、保護者からの連絡票を受けて予定を確認し、本人の事故、急病に迅速に対応しています。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療ケアの対象者はいないが、保護者からの情報に基づき、てんかん等の急病に備えています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		以前の場からの情報提供は求めているが、必要に応じて、学校や関係機関から情報を得られるようにしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉事業所サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		求めがあれば、適正な情報を提供しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			日本社会事業大学の研究チームの研究に関与しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今はないが、機会あれば、いつでも対応できるよう心掛けています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			案内には欠かさず応じています。
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			帰宅のお迎え時に、日々の状況を伝えて、保護者との意思の疎通をはかっています。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		相談等があれば、応じています。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			規程等の必要事項の説明を丁寧に行っています。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			悩み、相談等を聞き、役に立つことを丁寧に伝えています。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会はないが、お迎え時に必ず直に保護者に会えるので、緊密な関係を築いています。
	㉔	子どもや保育者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等の問題あれば、すぐにも対応し、改善していきます。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報に代わるものとして、利用者自らが意思を発信できるよう指導している。また、保護者への連絡は必要に応じて丁寧に行っています。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			職員共々に、漏洩無きよう秘密保持に努めています。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の利用者の情報を職員間で共有し、適切な対応がなせるように努めています。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新開地で相互の交流は乏しいが、隣組の付き合いから始めて、交流を深めています。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員間では研修し、保護者にはポスター等の掲示物で伝えています。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			マニュアルに基づいて行っています。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修会を行い、意識を高めています。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	自傷他害や、その恐れが生じた場合、医療機関等の外部の助けを求めますが、それまでの間、別室にて職員が見守る事を保護者に伝えています。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	通所開始時にアレルギーを確認し、個別に対応しています。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			対応策を立て、不測の事態に備えています。

